

# 極楽寺だより

長門市三隅下  
野波瀬  
0837(43)0625

## 御正忌報恩講のご案内

如来さまの大慈悲をあきらかにして、  
私たちに浄土往生の道を示して下さいさつ

たご開山親鸞聖人の九十年のご苦労とご  
恩徳を讃え、仏恩報謝の心をよせあつて、  
大切につとめさせていただく報恩講。

浄土真宗では、もつとも大事なご法要で  
す。お誘いあわせお参り下さい。

一月十四日(月) 昼一時半 夜七時

十五日(火) 昼一時半 夜七時

夜十一時

十六日(水) 昼一時半

(十六日は親鸞聖人のご命日。特に大切に勤めます。)

### 報恩講お斎のご案内

次の通り、お斎のご案内を申し上げます。

十五日	十四日	昼
豊原・平野・浅田・沢江 上ゲ・殿村・上東方 下東方・小島・町外	向山・久原・土手 中村・大竹・市・湯免 下中小野・辻並	野波瀬西側 (五〜十三班)
室生	野波瀬東側 (一〜四班)	夜

- ※ 十六日は、お斎はありません。
- ※ 都合の悪い方は、割り当て以外の日にお参りされても構いません。

### お斎の受付のおねがい

野波瀬の世話人の方は、毎年のように担当区域のお斎の日のお世話をお願いします。

### 年回忌表

2008年(平成二十年)  
昭和83年に当たります。

100回忌	50回忌	33回忌	25回忌	17回忌	13回忌	7回忌	3回忌	1周忌
明治42年 往生	昭和34年 往生	昭和51年 往生	昭和59年 往生	平成4年 往生	平成8年 往生	平成14年 往生	平成18年 往生	平成19年 往生
1909年	1959年	1976年	1984年	1992年	1996年	2002年	2006年	2007年

御正忌報恩講つて？

親鸞聖人の亡くなられた日をご縁として開かれる法要です。親鸞聖人は七五〇年も前に亡くなられましたが、聖人がその一生をかけて明らかにされたお念仏の教えは、それを生きる力、よりどころとした、たくさんのお念仏者を生み育ててきました。私たちの先輩方は、この御正忌という法要を一番大切にされ、人生における本当に尊いことを聴聞されました。門徒みんながこの御正忌にお参りすることが、慣わしでもあったのです。

十五日には、夜の座の後に午後十一時の通夜法座もあります(平成六年までは、十六日朝五時のお朝事まで、徹夜でお番をするお通夜を、極楽寺でも勤めていました。)十六日の御命日は、特に大切にお勤めいたします。十六日には、毎年記念写真を撮ります。



今年の十六日御命日にお参りされた皆さん

2006(平成18)年度極楽寺門徒会収支決算書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

収入	費目	金額(円)	摘要
収入	門徒会会費	795,000	延 265 戸 × 3,000 円(野波瀬 123 / 在方 112 / 町外延 30)
	本山教化助成金	40,420	本山門徒講、永代経志進納関係 20,800 円 ほか
	貯金利息	98	
	前年度繰越金	2,437,963	
	合計	3,273,481	
支出	負担金	460,140	本山賦課金 127,400 本山門徒講金 152,000 山口教区費 146,140 大津東組 組費 34,600
	研修会費	47,500	教区、組、総代会 41,000 教区仏壮研修会 6,500
	火災保険料	147,450	本堂 6,500 万円 掛金 111,250 円 庫裏 3,800 万円 掛金 36,200 円
	会議費	60,000	6/24 総代・世話人会議
	慶弔費	10,000	10/29 岡村秀穂世話人逝去香儀
	合計	725,090	
	差引残金	2,548,39	郵便局 2,200,823 漁協 347,568

12月1日の総代・世話人会議にて、上記の通り収支決算が承認されました。

2007(平成19)年度の門徒会費は、前年通り3,000円です。総代長:宮崎茂之 副総代長:藤田平二  
会計:木村慎治 会計監査:《総代》野村昭一 《世話人》黒瀬彰己(12/1に新監査に選任)

【世話人の異動】

◆ 岡村秀穂さん(約43年間在任・18年10月29日逝去)の後任 竹林啓助さん。

◆ 山本弘樹さん(8年間在任・19年7月9日逝去)の後任・藤村勇次さん。

長い間、有り難うございました。新任の皆様よろしくお願い致します。

# 「負けてよかった」 若住職

暮れもおしせまってきました。新しい年を迎えるにあたり、皆さんそれぞれ「こんな一年でありたい」という願いを持たれることでしよう。今年を振り返ると、その「思い」が適わなかった代表的な人たちが、ボクシングの亀田一家ではなかったかと思えます。その派手で傲慢な言動で注目を集めた彼らでしたが、次男大毅選手の敗戦を機にその生活は大きく変わってしまいました。

彼らの才能や真剣なトレーニングは、今でも高く評価されています。しかし、反則行為や言動は、パフォーマンスを越えて行き過ぎていたことも事実です。もし、大毅選手が勝っていれば、その傲慢さや身勝手さは益々増長されていたでしょう。そうなるからつまずきは、今以上の大きな反動になって彼らに返ってきたはずです。僕は、本当に良い時期に負けを経験できたのではないかと思います。

仏法を聞いてこられた先輩方は、「勝つ」ことや、「思い通りになること」を願いながら生きている私たちに、「負けること」から学ぶことや、「思い通りにならないこと」がかえって世の中を広く豊かにすることを教えて下さいました。亀田一家も「チクシヨ、あの時負けていなければ。」という思いに立つ限り、いつまでも同じことの繰り返し返してしよう。しかし、後々振り返ったときに「あの時負けて良かった。もし勝っていたら、きっととんでもないことになっていた。」、そう思える歩みをしたときに、彼らはもっと強く、大きな選手になるのだと思います。新しい一年には、うれしいことだけでなく、悲しいことやつらいこともあるかもしれませんが、それを通してどんなことに気づくのか、どんな出遇いが開かれるのか、僕はそのことを大切にしたいと思うのです。

## 極楽寺今年のご法座

- ◆ 一月一日 朝十時 (毎年) 元旦会
- ◆ 一月十四日～十六日 (毎年) 御正忌報恩講
- ◆ 四月二十二日～二十三日 春の永代経法要  
講師 福岡 志摩 戒宝寺住職 原田英道 師
- ◆ 五月二十一日 (毎年) 清光仏教婦人会の降誕会
- ◆ 六月二十六日～二十七日 夏法座  
講師 俵山 正福寺前住職 上原泰 教師
- ◆ 八月十四日～十六日 (毎年) 盆法会
- ◆ 九月二十三日 (毎年) 納骨堂追悼法要
- ◆ 十一月十二～十三日 秋の永代経法要  
講師 福岡 筑穂町 正円寺住職 高石双樹 師
- ◆ 十二月十八日 (毎年) 清光仏教婦人会の報恩講
- ◆ 十二月三十一日 (毎年) 除夜の鐘つき 初礼拝

※夜の座へ、たくさんのお参りをお願いします。

【お知らせ】親鸞聖人のお荘嚴の工事は一月開始

◇ 大遠忌法要・継職法要の記念事業の中心は、如来様と親鸞聖人のお荘嚴の修復工事です、予算額は千三百一十万円です。

◇ すでに如来様の御宮殿、須弥壇・前卓・上卓など八百五十万円相当の解体修理が七月に終わり、大変見事になりました。明治十八(一八八五)年の新調以来、百二十二年ぶりの修理です。

◇ 来たる御正忌が終わりましたら、親鸞聖人のお厨子・須弥壇の解体修理(予算四百二十一万円)に入ります。安政五(一八六五)年寄進と記してありますから、百四十三年前のこと。正面参道の石段も同じ年です。宗祖六百回大遠忌の記念だったと思われまます。

◇ 工事は、長門市末広仏壇店と千二百七十一万円(予算通り)で契約しております。別に、宗祖の間の金壁修理予算が三十万円となっております。

極楽寺第二三世住職継職法要  
親鸞聖人七五〇回大遠忌法要

二〇〇九(平成二十一年)年

五月三日(日)・四日(月)祝日を予定しています。

※稚児の募集など、詳細は後日改めてご報告します。

除夜の鐘つきのご案内

毎年、極楽寺では、おでんを用意して、大晦日に除夜の鐘つきを致します。

熱々のおでんをほおばりながら、新しい年が明けるのを共に味わいましょう。

懐かしい人と再会できるかもしれませんよ。

打ち始め十一時五十分より。終了後、初参拝のお勤めをし

つきはじめ  
11時50分



年越しは、極楽寺で

元旦会 1月1日 10時から

時間は約三十分。家族全員でお参りされる家もあります。皆さんお参り

いたしましょう。わが家のお仏壇も打敷をかけて飾り、新年を迎えましょう。

